



## ▶ 学校教育目標

## 寺尾中学校

- 校訓 「自主」「剛健」「敬愛」
- ・自ら考え学習する生徒
- ・心身ともに健康な生徒
- ・情操豊かな生徒

## 寺尾小学校

- ・すくんで学ぶ子 ～めあてに向かって粘り強く学習できる児童
- ・心ゆたかな子 ～自分を大事にすると同時に他人を思いやる児童
- ・元気な子 ～進んで身体を動かし、心身ともにたくましい児童

## ▶ 目指す子ども像

粘り強く学習に取り組み、自分の考え方を表現できる子ども



積極的に人と関わり、自信をもって行動できる子ども



進んで身体を動かし、心身ともにたくましい子ども



## ▶ 各発達段階で身に付けさせたい力 ~9年間を見通した指導~

中学校	中3 中2	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって、計画を立て、必要に応じて修正しながら、課題の解決に取り組むことができる。※課題解決能力</li> <li>・根拠を基に、自分の考えを相手に分かりやすく説明できる。※思考力、判断力、表現力等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な立場の人と(高齢者、幼児、異性、先輩、後輩、地域の方々など)相手を尊重し積極的に関わることができる。</li> <li>※積極的に人と関わる力</li> <li>・自己理解を深め、経験に基づき正しいと思うことを実践することができる。</li> <li>※人間関係における実践力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で目標を設定し、積極的に体を動かすことができる。※運動に対する意欲</li> <li>・自分の力を信じ、何事にも明るく前向きに取り組むことができる。※自己肯定感(自己を肯定する力、たくましさ)</li> <li>・自らの健康課題の解決に向けて、実践を継続して取り組みながら食習慣や生活習慣を整えることができる。</li> </ul>
	中1	<ul style="list-style-type: none"> <li>難しい課題にもあきらめずに最後まで取り組むことができる。※学習に取り組む意欲(力)</li> <li>・理由をつけて自分の考えを、自分なりの言葉で伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を聞き、意図を理解した発言や行動をすることができる。</li> <li>・授業における学び合いや学校行事等の話し合いの場で、よりよいものになるような意見や考えを提案したり発表したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で目標を設定し、積極的に体を動かすことができる。※運動に対する意欲</li> <li>・自分の力を信じ、何事にも明るく前向きに取り組むことができる。※自己肯定感(自己を肯定する力、たくましさ)</li> <li>・仲間と認め合いながら基礎的な体力を身につけ、粘り強く挑戦することができる。</li> <li>・知識を生かしながら実践を通して、自らの健康課題に気付くことができる。</li> <li>・体つくりに必要な栄養素や食べ方を知ることができます。</li> </ul>
	小6 小5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題にあきらめずに最後まで取り組むことができる。</li> <li>・手本をもとに、自分の思いや気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれの話しても、正しい姿勢で最後まで聞くことができる。</li> <li>・授業における班活動や学校行事で、相手が嫌がる言葉づかい(ちくちく言葉)や言動をどうぞ、丁寧な言葉づかい(ふわふわ言葉)ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことの楽しさを知り、何でも興味を持って前向きにチャレンジすることができる。</li> <li>・健康的な体つくりや自らの健康課題に気付くための知識を得ることができます。</li> <li>・何でも好き嫌いなく食べることが、体つくりに必要なことを知ることができます。</li> </ul>
	4年 3年 2年 1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートにおいて、「粘り強く課題解決に取り組む姿勢」を問う項目で、両者の肯定的な回答が8割以上である。</li> <li>・授業アンケートにおいて、「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える力」等を問う項目で、肯定的な回答が8割以上である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートにおいて、「どちらか未来アシストネットを活用し、地域との連携を深めている」等の項目で、両者の肯定的な回答が9割以上である。</li> <li>・学校行事におけるアンケートにおいて、「活動最中に相手の立場に立って考えたり、気持ちを想像した言動がとれた」等の項目で、肯定的な回答が9割以上である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートにおいて、「『ノーメディアデー』『睡眠改善WEEK』が効果的である」の項目で、肯定的な回答が8割以上である。</li> <li>・生活習慣におけるアンケートにおいて、「自ら行動することで、よりよい生活習慣が確立できたか」に関する項目で、肯定的な回答が8割以上である。</li> <li>・体育に関するアンケートにおいて肯定的な回答が8割以上である。</li> </ul>

## ▶ 本年度の取組

## 研究主題(学校課題)「主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する児童生徒の育成」

## 重点目標

市教委指定「人権教育実践研究校」として取り組んできた成果を生かし、小中教職員の同僚性を高めるとともに、児童生徒の人権感覚、人権意識を高める。

「授業改善部会」を核として、『粘り強く学習に取り組み、自分の考え方を表現できる子ども』を育成するためUD化の推進を基盤にして以下のことを行う。

○見通しをもって、計画を立て、必要に応じて修正しながら、課題の解決に取り組む活動の充実(課題解決能力の育成)

○根拠を基に、自分の考えを相手に分かりやすく説明したり、相手の意見を聞いたりする活動の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)

・学校評価アンケートにおいて、「粘り強く課題解決に取り組む姿勢」を問う項目で、両者の肯定的な回答が8割以上である。

・授業アンケートにおいて、「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える力」等を問う項目で、肯定的な回答が8割以上である。

「豊かな体験部会」を核として、『積極的に人と関わり、自信をもって行動できる子ども』を育成するために、以下のことを行う。

○様々な立場の人(高齢者、幼児、異性、先輩、後輩、地域の方々など)と積極的に関わる活動の充実(積極的に人と関わる力)

○自己理解を深め、経験に基づき、正しいと思うことを実践する活動の充実(人間関係における実践力)

「健康推進部会」を核として、『進んで体を動かし、心身ともにたくましい子ども』を育成するために、以下のことを行う。

○自らの健康課題の解決に向けて、実践を継続して取り組み、生活習慣を整えるための指導・支援の充実

○自分の力を信じ、何事にも明るく前向きに取り組むことができるようになる指導・支援の充実

・学校評価アンケートにおいて、「『ノーメディアデー』『睡眠改善WEEK』が効果的である」の項目で、肯定的な回答が8割以上である。

・生活習慣におけるアンケートにおいて、「自ら行動することで、よりよい生活習慣が確立できたか」に関する項目で、肯定的な回答が8割以上である。

・体育に関するアンケートにおいて肯定的な回答が8割以上である。

## 取組内容(評価項目)

## 成果指標